【構成員】

教授：西村正宏

准教授：西　恭宏

講師：村上　格

助教：石井正和，末廣史雄，橋口千琴，田中帝臣（平成 26 年 12 月まで），藤島　慶，下田平直大，

医員：西尾美咲，峰元洋行

客員研究員：川本真一郎 ，清水孝治，鎌下祐次

【論文】

オリジナル研究

原著論文

1. Nishi Y, Seto K, Kamashita Y, Kaji A, Kurono A, Nagaoka E. Survival of microorganisms on complete dentures following ultrasonic cleaning combined with immersion in peroxide-based cleanser solution. Gerodontology 2014; 31(3): 202-209. (0.806)
2. Hashiguchi C, Kawamoto S, Kasai T, Nishi Y, Nagaoka E. Influence of an antidiabetic drug on biomechanical and histological parameters around implants in type 2 diabetic rats. Implant Dent 2014; 23(3): 264-269. (1.110)
3. Murakami M, Nishi Y, Kamashita Y, Nagaoka E. Comparison of a saliva wetness tester and a moisture-checking device in patients with maxillary obturator prostheses. Gerodontology 2014; 31(2): 83-88. (0.806)

総説

1. 西村正宏、西　恭宏、鎌下祐次、村上　格、丸山浩美、葛西貴行、田中帝臣、橋口千琴. 顎骨骨髄間葉系幹細胞を用いた顎堤増生治療の開発. 鹿児島県歯科医師会報 2014.1.9；112(691)：11-13.
2. 西村正宏. 顎骨骨髄間葉系幹細胞を用いた顎堤増生医療の開発. 鹿児島大学歯学部紀要 2014.3.25；34：53-64.
3. 西村正宏. 一歩進んだスキルを身につける　可撤性補綴装置支台としてのインプラント活用術②補綴学的な観点から見たインプラント支台による可撤性補綴の適応-可撤性義歯の支持・維持・把持の役に立つインプラントの使い方とは？. 歯界展望 2015.2.15；125(2)：252-259.

症例報告

1. Murakami M, Nishi Y, Umezono M, Kamashita Y, Nishimura M. Fabrication of a Movable Obturator Following Maxillary Reconstruction with Slit-Shaped Fenestration. Journal of Prosthodontics 2014; doi: 10.1111/jopr.12199. (0.905)
2. Shimizu T, Mizushiri M, Fukunishi K, Taniike N, Takenobu T, Nishimura M, Murata H. Full Mouth Reconstruction with Dental Implants for a Patient with Conservative Treatment for Bilateral Condylar Fractures: A Case Report. Journal of Oral Implantology　2015.2.1; 41(1): 89. (1.148)

著書

1. 西村正宏、嶺崎良人. クラウンブリッジ補綴学. 矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠　編，III 埋没・鋳造・熱処理・研磨，C　鋳造用金属，医歯薬出版株式会社 2014.12.20；第 5 版　：203-211.

共同研究

原著論文

1. Tanigawa T, Shibata R, Ouchi N, Kondo K, Ishii M, Katahira N, Kambara T, Inoue Y, Takahashi R, Ikeda N, Kihara S, Ueda H, Murohara T. Adiponectin deficiency exacerbates age-related hearing impairment. Cell Death and Disease 2014; 5: e1189. (5.177)
2. Ishii M, Shibata R, Shimizu Y, Yamamoto T, Kondo K, Inoue Y, Ouchi N, Tanigawa T, Kanemura N, Ito A, Honda H, Murohara T. Multilayered adipose-derived regenerative cell sheets created by a novel magnetic tissue engineering method for myocardial infarction. International Journal of Cardiology 2014; 175(3): 545-553. (6.175)
3. Hao CN, Shintani S, Shimizu Y, Kondo K, Ishii M, Wu H, Murohara T. Therapeutic Angiogenesis by Autologous Adipose-Derived Regenerative Cells: Comparison With Bone Marrow Mononuclear Cells. American Journal of Physiology. Heart and Circulatory Physiology 2014; 307(6): H869-H879. (4.012)
4. Ishii M, Shibata R, Kondo K, Kambara T, Shimizu Y, Tanigawa T, Bando-Kureishi, Y, Nishimura M, Ouchi N, Murohara T. Vildagliptin stimulates endothelial cell network formation and ischemia-induced revascularization via an endothelial nitric oxide synthase-dependent mechanism. Journal of Biological Chemistry 2014; 289(39): 27235-27245. (4.6)

総説

1. Kaku M, Akiba Y, Akiyama K, Akita D, Nishimura M. Cell-based Bone Regeneration for Alveolar Ridge Augmentation -Cell Source, Endogenous Cell Recruitment and Immunomodulatory Function-. Journal of Prosthodontic Research 2015; 59: 96-112.

【学会発表】

国際学会　一般発表

1. Suehiro F, Sakai Y, Ishii M, Nishimura M. Novel culture method of alveolar bone marrow stromal cells for alveolar ridge augmentation. Asian Academy of Osseointegration, 2014. 2014. 7.4, Sapporo.
2. Hashiguchi C, Kawamoto S, Nishi Y, Nishimura M. The influence of an anti-diabetic drug on bone formation around titanium implants in type 2 diabetic rats. Asian Academy of Osseointegration 2014, 2014.7.4, Sapporo.
3. Kimura-Ono, Kuboki T, Ichikawa T, Baba K, Hideshima M, Sato Y, Sawase T, Nishi Y, Nagao K, Sakurai K, Masumi S, Minagi S, Tsuga K, Tamaki K, Sato H, Wake H, Ohyama T, Akagawa Y, Hirai T, Sasaki K, Koyano K, Yatani H. Minimal Important Difference of Japanese Version of Oral Health Impact Profile in Prosthodontically Treated Patients.. The 9th International Dental Collaboration of The Mekong River Region congerss 2014, 2014.11.4, Bali.

国内学会　特別講演，シンポジウム

1. 西村正宏. 可綴性義歯の支持・把持・維持に役立つインプラントの有効な使い方とは. 第 123 回日本補綴歯科学会（臨床スキルアップセミナー）. 2014.5.23, 仙台.
2. 西村正宏. 顎骨の増生治療に向けた現状と課題. 平成 26 年度日本歯科理工学会九州支部夏期セミナー（特別講演）. 2014.8.9, 鹿児島.
3. 西村正宏. 顎骨再生のために幹細胞と組み合わせる最適な骨補填材のデザインとは？. （公社）日本セラミックス協会　第 27 回秋季シンポジウム（招待講演）. 2014.9.9, 鹿児島.
4. 西村正宏. インプラント補綴の最近の潮流. 平成 26 年度鹿児島大学歯学部公開講座 2015.2.8, 鹿児島.
5. 西村正宏. インプラント補綴の最近の潮流. 平成 26 年度鹿児島市歯科医師会後期学会 2015.2.28, 鹿児島.

国内学会　一般発表

1. 村上　格, 西　恭宏, 橋口千琴, 西尾美咲, 田中帝臣, 蟹江隆人, 西村正宏. 口腔保湿剤の種類および湿度

が粘度に及ぼす影響. 第 123 回日本補綴歯科学会，2014.5.23，仙台.

2. 西　恭宏，村上　格，蟹江隆人，橋口千琴，田中帝臣，西尾美咲，西村正宏. 床用レジンにおけるエアロラップ法鏡面研磨による研磨時間. 第 123 回日本補綴歯科学会，2014.5.23，仙台.
3. 村上　格，西　恭宏，鎌下祐次，西村正宏. 口腔保湿剤の種類と湿度が残存重量ならびに粘度に及ぼす影響. 第 25 回 日本老年歯科医学会，2014.6.13，福岡.
4. 西　恭宏, 村上　格, 鎌下祐次, 西村正宏. エアロラップ法鏡面研磨による床用レジンの研削量. 第 25 回 日本老年歯科医学会，2014.6.13，福岡.
5. 釜付　愛，中村康典，田中真美，内　洋子，今村亜紀，中元めぐみ，西　恭宏. 全介助 ICU 患者に対する口腔ケアマニュアルの適応とその効果. 第 11 回日本口腔ケア学会，2014.6.28，旭川.
6. 石井正和，柴田　玲，井藤　彰，末廣史雄，下田平直大，藤島　慶，橋口千琴，本田裕之. 磁性ナノ微粒子を用いた新規細胞シート技術による血管再生療法の開発. 平成 26 年度日本歯科理工学会九州支部夏期セミナー，2014.8.8，鹿児島.
7. 下田平直大，田中帝臣，西　恭宏，西村正宏. インプラント周囲炎原因菌である Tannerella forsythia の surface layer（S-layer）の病原性. 平成 26 年度日本補綴歯科学会九州支部会，2014.8.23，福岡.
8. 藤島　慶，末廣史雄，橋口千琴，西　恭宏，西村正宏. デンタルプラーク細菌叢の性状解析からみた支台歯管理の重要性について. 平成 26 年度日本補綴歯科学会九州支部会，2014.8.23，福岡.
9. 西尾美咲，村上　格，西　恭宏，峰元洋光，西村正宏. 開窓療法に適用する栓塞子の製作に関する臨床的考察. 平成 26 年度日本補綴歯科学会九州支部会，2014.8.23，福岡.
10. 鉛山光世，松井竜太郎，西 恭宏，下松孝太，西山 毅，五月女さき子，三浦尚子，田栗教子，中村康典，西村正宏, 中村典史. 当院歯科病棟における摂食嚥下回診チームの 5 年間の連携の取り組みと工夫. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，2014.9.6，東京.
11. 三浦尚子，下松孝太，比地岡浩志，中村典史，西　恭宏，松井竜太郎. PAP と介護支援食導入により、舌癌患者の鼻咽腔閉鎖、摂食機能の改善および QOL 向上が見られた一例. 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，2014.9.6，東京.
12. 坂井裕大，末廣史雄，下田平直大，藤島　慶，西村正宏. 骨髄間葉系幹細胞(MSC)を用いた骨増生治療法の検討 ～臨床サイズの骨増生とインプラント適応の可能性評価～. 第 44 回(公社)日本口腔インプラント学会学術大会，2014.9.13，東京.
13. 濱村俊一，上治真太郎，堀之内竜二，村瀬将之，西　恭宏. 改良を加え審美性を向上させたＦＲＣクラスプの製作方法. 日本歯科技工学会 36 回学術大会，2014.9.20，札幌.
14. 下松孝太，中村康典，松井竜太郎，西 恭宏，西山 毅，五月女さき子，三浦尚子，鉛山光世，中村典史. 鹿児島大学病院歯科病棟での口腔癌治療における摂食嚥下チームの取り組み. 日本医療マネジメント学会 第 13 回九州・山口連合大会，2014.9.26，鹿児島.
15. 三浦尚子、比地岡浩志、下松孝太、西　恭宏、田中帝臣、松井竜太郎、中村典史. 舌接触補助床（PAP）と摂食回復支援食（あいーと®）導入により、摂食嚥下障害が改善し QOL の向上がみられた舌癌患者の一例. 第 10 回鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会，2014.11.8，鹿児島.
16. 下田平直大，末廣史雄，橋口千琴，藤島　慶，西村正宏. 大学病院における歯科インプラント治療の臨床統計学的検討. 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 32 回九州支部学術大会，2015.1.31，長崎.
17. 末廣史雄，坂井裕大，下田平直大，藤島　慶，西村正宏. 骨髄由来間葉系幹細胞を用いた骨増生メカニズムの解析. 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 32 回九州支部学術大会，2015.1.31，長崎.
18. 橋口千琴，川本真一郎，末廣史雄，西　恭宏，西村正宏. 2 型糖尿病ラットへの抗糖尿病薬投与が骨インプラント結合に与える影響ー生体力学的分析ー. 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 32 回九州支部学術大会，2015.1.31，長崎.

【外部資金獲得状況】

科学研究費

1. 基盤研究(B)　(2014～2016 年度)，課題番号：26293414
研究課題：脈管再生能を主体とする顎堤増生治療の開発
研究代表者：西村正宏，分担者：小戝健一郎，朝比奈　泉
配分額：総額：7,930 千円（直接経費：6,100 千円，間接経費：1,830 千円）
2. 挑戦的萌芽研究　(2014～2015 年度)，課題番号：26670849
研究課題名：自発的骨膜挙上能をもつ骨補填材の開発
研究代表者：西村正宏，分担者：村田比呂司，末廣史雄
配分額：総額：1,820 千円（直接経費：1,400 千円，間接経費：420 千円）
3. 基盤研究(C)　(2014～2016 年度)，課題番号：26462931
研究課題名：抗糖尿病薬が 2 型糖尿病ラットの骨インプラント結合に与える影響の力学・組織学的分析
研究代表者：川本　真一郎，分担者：橋口千琴，西村正宏
配分額：総額：2,990 千円（直接経費：2,300 千円，間接経費：690 千円）
4. 基盤研究(C)　(2014～2016 年度)，課題番号：26463188
研究課題名：口腔乾燥義歯患者における咀嚼能力の回復は，口腔細菌叢を正常化する
研究代表者：清水孝治，分担者：村上　格，西　恭宏，西村正宏
配分額：総額：2,080 千円（直接経費：1,600 千円，間接経費：480 千円）
5. 若手研究(B)　(2014～2015 年度)，課題番号：26861601
研究課題名：全身疾患をもたらすStreptococcus mutans　新規病原性因子の同定
研究代表者：藤島　慶
配分額：総額：1,560 千円（直接経費：1,200 千円，間接経費：360 千円）
6. 若手研究(B)　(2014～2015 年度)，課題番号：26861821
研究課題名：Aa による歯周病とアテローム性動脈硬化症の発症への関与について
研究代表者：下田平　直大
配分額：総額：1,560 千円（直接経費：1,200 千円，間接経費：360 千円）
7. 若手研究(B)　(2013～2014 年度)，課題番号：25860595
研究課題名：磁性ナノ微粒子を用いた細胞シート移植による虚血性心疾患に対する治療効果の検討
研究代表者：石井正和
配分額：総額：1,690 千円（直接経費：1,300 千円，間接経費：390 千円）
8. 基盤研究(C)　(2013～2015 年度)，課題番号：25463007
研究課題名：顎骨骨髄由来間質細胞を用いた歯槽骨再生のための骨分化能診断法の開発
研究代表者：末廣史雄，分担者：西村正宏
配分額：総額：1,560 千円（直接経費：1,200 千円，間接経費：360 千円）
9. 挑戦的萌芽　(2012～2014 年度)，課題番号：24659863-1
研究課題名：白金ナノコロイドとキマーゼ阻害薬を応用したドライマウス用粘膜活性保湿ジェルの創製
研究代表者：村田　比呂司　分担（西村正宏、黒木唯文、山下利佳）
配分額：総額：130 千円（直接経費：100 千円，間接経費：30 千円）
10. 挑戦的萌芽　(2013～2014 年度)，課題番号：25670863-1
研究課題名：機能性 microRNA の生体内 delivery による骨再生促進システムの開発
研究代表者：朝比奈　泉，分担者：西村正宏
配分額：総額：130 千円（直接経費：100 千円，間接経費：30 千円）
11. 挑戦的萌芽　(2013～2015 年度)，課題番号：25670834-1
研究課題名：骨代謝異常に対応可能な骨代替材料と破骨細胞前駆細胞による次世代骨再生医療の展開
研究代表者：池田　通，分担者：西村正宏，上高原　理暢，井奥　洪二
配分額：総額：260 千円（直接経費：200 千円，間接経費：60 千円）
12. 基盤研究(C)　(2012～2014 年度)，課題番号：24592925

研究課題名：食事栄養指導ツール開発のための咀嚼・嚥下機能と食事・栄養状態の関連の検討
研究代表者：西　恭宏，分担者：村上　格
配分額：総額：1,690 千円（直接経費：1,300 千円，間接経費：390 千円）

13. 基盤研究(C)　(2012～2014 年度)，課題番号：：24593160
研究課題名：効果的な保湿が口腔乾燥義歯患者の口腔および咽頭の細菌叢を正常化する
研究代表者：村上 格，分担者：松尾美樹，西　恭宏，西村正宏
配分額：総額：1,170 千円（直接経費：900 千円，間接経費：270 千円）

14. 若手研究(B)　(2013～2014 年度)，課題番号：25861858
研究課題名：2 型糖尿病ラットにおけるチタンインプラントの生体力学的・組織形態計測学的解析
研究代表者：橋口　千琴
配分額：総額：780 千円（直接経費：600 千円，間接経費：180 千円）

15. 基盤研究(B)　(2012～2014 年度)，課題番号：24390439-1
研究課題名：義歯安定剤利用ガイドライン構築に関する基盤研究：マルチセンター前向き臨床研究
研究代表者：河相　安彦，分担者：西　恭宏
配分額：総額：130 千円（直接経費：100 千円，間接経費：30 千円）

科学研究費以外

1. 2014 年度　グラクソ・スミスクライン研究助成（2014～2015 年度）
研究課題名：口腔カンジダ症発症抑制のための検討
研究代表者：藤島　慶，分担者：石井正和，村上　格，西　恭宏，西村正宏
配分額：総額：2,000 千円

2. 2014 年度　丸善製薬株式会社共同研究費
研究課題名：植物由来エキスの表皮幹細胞増殖促進作用、および口腔内抗菌活性の研究
研究代表者：西村正宏，分担者：小松澤　均
配分額：総額：1,000 千円

【受賞】

受賞者：下田平直大（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）
受賞名：平成25年度日本歯周病学会奨励賞
研究課題：The S-layer of Tannerella forsythia contributes to serum resistance and oral bacterial co-aggregation
受賞年月日：2014年5月23日

受賞者：西村正宏（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科）
受賞名：平成26年度日本口腔インプラント学会優秀論文賞
研究課題：骨増生に向けた顎骨骨髄液採取と間質細胞培養法
受賞年月日：2014年9月12日